

VMware vRealize Operations for Horizon

概要

VMware vRealize™ Operations for Horizon® は、データセンターからデバイスに至るまで、仮想デスクトップおよびアプリケーション環境の End-to-End の視認性を提供し、健全性、パフォーマンス、および効率性の情報を提示します。デスクトップ管理者は、プロアクティブにエンドユーザーの使用環境を最適化し、問題の発生を回避して、ボトルネックを解消できるようになります。vRealize Operations for Horizon は VMware Horizon 6 向けに設計されており、IT 部門の生産性を向上させ、仮想デスクトップおよびアプリケーション環境を所有および運用するコストを削減します。

主なメリット

- Horizon 6 環境のパフォーマンスと健全性を包括的に把握できるので、ボトルネックを解消し、ユーザーの操作性を改善して、作業環境の生産性を向上させます。
- スタック全体で根本原因分析をインテリジェントに自動化し、監視データを自動的に関連付けることで、トラブルシューティング時間が短縮し、チームの生産性が最大 50 % 向上します。
- 自己学習型の分析機能により、エンドユーザーに影響がおよぶ前に、近い将来発生が見込まれる問題をデスクトップ管理者に通知できるため、事前対応型の管理を可能にし、プロセスを改善できます。
- 組み込みのレポート機能と修正コマンドによって、コンプライアンスを維持し、サービスレベルアグリーメント (SLA) を満たすことができます。

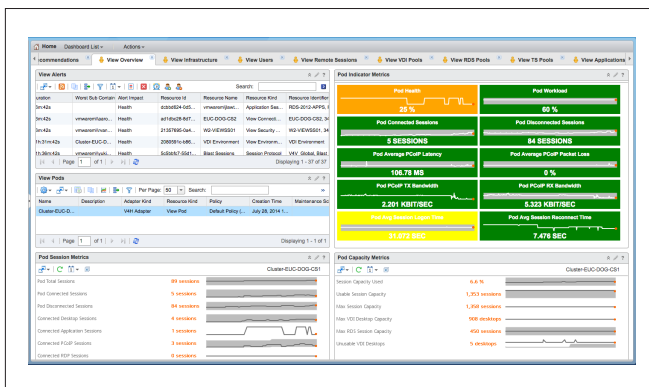
ビジネス上の課題

企業は、デスクトップおよびアプリケーションの仮想化によって、デバイス、場所、メディア、接続方法を問わず、企業のサービスに安全にアクセスできる方法をエンドユーザーに提供しようとしています。しかし、従業員に最適な使用環境を大規模に提供するには、使用するストレージ、ネットワーク、およびコンピューティングを IT 部門が適切にサイジングし、必要に応じて修正できる必要があります。エンドユーザーのデスクトップやアプリケーションも同様です。ログインに時間がかかったり、アプリケーションのパフォーマンスが低い場合、作業環境の生産性に大きく影響します。ユーザーの使用環境を最適化するには、データセンターから、従業員のデスクトップやアプリケーションに至るまで、IT 部門が発生する問題を事前に予測できる必要があります。

従来型のツールの課題

従来より、多数の運用管理用のツールやプロセスが存在し、前述の課題を解決するとしていますが、そのほとんどは、次のような理由から大規模な VMware Horizon (with View) 環境の管理には適していません。

- 大規模なデータセットを処理できる能力がなく、多くの環境に必要な品質のアラートを実現できない
- 環境に関する情報の一部しか提供されず、時間の経過とともに正常と異常を判断できるようになる学習機能がない
- サーバ、ストレージ、ネットワーク、デスクトップ、アプリケーションを含むスタック全体のパフォーマンスおよび健全性を End-to-End で管理できない



vRealize Operations ダッシュボードで、仮想デスクトップ インフラストラクチャ環境の包括的な視認性を提供

ソリューションの概要

VMware vRealize Operations for Horizon は、Horizon 6 向けに最適化されているため、IT 部門がこのような課題に直接対処できると同時に、運用効率とユーザーの使用環境を改善し、運用コストを削減するほか、インフラストラクチャの使用率を向上させます。

主な機能

- 環境に合わせた特許取得済の自己学習型の分析機能により、サーバ、ストレージ、ネットワーク、およびエンド ユーザーのパフォーマンスに関する多数のメトリックを継続的に分析
- ゲスト内のアプリケーション パフォーマンスのメトリックにより、エンド ユーザーの使用環境を最適化
- 包括的なダッシュボードにより、健全性とパフォーマンス監視の簡素化、ボトルネックの特定、Horizon 環境全体のインフラストラクチャの効率性の向上が可能
- 動的なしきい値および「スマート アラート」により、プロセスの早い段階で管理者に通知し、近い将来発生が見込まれるパフォーマンスの問題について、より具体的に情報を提供
- 根本原因の分析、セッション検索、およびイベントの関連付けを自動化することで、エンド ユーザーが抱える問題のトラブルシューティング時間を短縮
- パフォーマンス、キャパシティ、および構成を統合管理できるため、仮想デスクトップと仮想アプリケーションの全体的な運用管理が可能
- 設定なしですぐに利用可能な、使用状況やライセンスのメトリックに関するレポート機能と、迅速な修正を可能にする事前構成されたコマンド
- Horizon 6 専用の設計と最適化
- 仮想アプライアンスとして使用できるため、短時間で利用を開始することが可能

ビジネス上のメリット

IT 部門は vRealize Operations for Horizon を使用して Horizon 6 環境を管理することで、次のメリットを享受できます。

- 運用コストの削減：スタッフの生産性が最大で 50 %、インフラストラクチャの効率性が最大で 30 % 向上
- 導入期間の短縮：本番環境の仮想デスクトップや仮想アプリケーションの移行およびスケールアウトをより迅速に実行
- 優れた使用環境に任意のデバイスからアクセス：インフラストラクチャおよびデスクトップの管理者は、仮想デスクトップの運用およびインフラストラクチャを包括的に確認できるため、エンド ユーザーに影響が及ぶ前にパフォーマンスの問題を解消

vRealize Operations for Horizon のメリットを受けるユーザー

vRealize Operations for Horizon は、IT 部門や業務部門、およびその管理者がビジネス目標を実現する際に役立ちます。

- デスクトップ インフラストラクチャ部門責任者：運用コストを削減しながら、エンド ユーザーに提供するサービス品質を向上
- ヘルプ デスク チームの管理者：トラブルシューティングを自動化し、エンド ユーザー セッションやバックエンド インフラストラクチャのパフォーマンスの視認性を高めることで、平均修復時間 (MTTR) を短縮
- 仮想インフラストラクチャの運用管理者：至急対応が必要な問題を削減することでチームの生産性を向上させ、インフラストラクチャ、デスクトップ、およびアプリケーションのプロアクティブな管理を実現
- 仮想インフラストラクチャおよびデスクトップ管理者：通常の動作、健全性の問題、および初期段階のパフォーマンス ボトルネックなど、インフラストラクチャのあらゆる側面を詳細に確認

仮想デスクトップおよび仮想アプリケーションの価値の最大化

VMware vRealize Operations for Horizon によって、IT 部門は、大規模な仮想デスクトップおよびアプリケーション環境をシームレスに監視および修正できます。vRealize Operations for Horizon は、1,000 人以上のユーザーへの仮想デスクトップや仮想アプリケーションの展開を検討している IT 部門に最適です。従来の監視用のツールやプロセスでは解決できなかった、管理や運用に関する課題に対処できる唯一のソリューションです。VMware Horizon 6 と vRealize Operations を組み合わせることで、世界中の企業が、所有コストの削減、導入期間の短縮、およびエンド ユーザー使用環境の改善を実現できます。

詳細情報

VMware 製品のご購入、または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、VMware vRealize Operations のオンライン ドキュメントを参照してください。

